

活動成果報告書

平成25年度（第17回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

働く世代の健康づくりのための環境整備を推進する

～健康づくり優良事業所 福井県丹南健康福祉センター所長表彰～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

福井県丹南健康福祉センター

福祉保健部健康増進課・武生福祉保健部健康増進課

代表者：斎藤 博子

【表彰式風景】



勤務先：福井県丹南健康福祉センター

所 属：福祉保健部健康増進課

所在地：〒916-0022

福井県鯖江市水落町1丁目2-25

T E L：0778-51-0034

F A X：0778-51-7804

E-Mail：t-fukusi-c@pref.fukui.lg.jp

◇活動方針

生活習慣病対策に、働く世代への働きかけは必須である。事業所に勤める人々の健康づくりに関する制度は、労働安全衛生法により、定期健康診断をはじめとした様々なものが規定されている。また、平成20年度から、保険者による特定健診・特定保健指導制度が始まっている。

しかし、労働安全衛生法の規定の多くは努力義務であり、事業所の衛生を管理する衛生管理者は従業員50人未満の事業所に設置義務はない。これらから、事業所の健康づくりの環境は大規模事業所では整いやすく、小規模事業所では整いにくいことが予測される。平成23年度特定健診受診率は、協会けんぽ福井支部42.7%に対し、健保組合合計78.5%と協会けんぽ福井支部が低く、H23年度特定保健指導実施率も協会けんぽ福井支部11.2%に対し、健保組合合計25.2%と協会けんぽ福井支部が低く、この事実を裏付けしている。

福井県丹南健康福祉センター管内は、従業員数50人未満の事業所が97.7%を占めており（平成21年経済センサス基礎調査結果）、小規模事業所が多く、働く世代の健康づくりの環境が整っていないことが予測される。このため、従業員の健康づくりに積極的に取り組み、顕著な功績のあった事業所を福井県丹南健康福祉センター所長が表彰することにより、事業主および従業員の健康づくりに関する意識の向上を図るとともに、職場の健康づくりの取組みを推進することを目的とする。特に、平成25年度以降は、従業員20人以下の小規模事業所を中心に事業の啓発を図る。

活動成果報告書

◇活動内容

1 事業開始の経緯

平成23年度に開催した「丹南地区地域・職域連携協議会」において、事業所の健康づくりの取組みを推進するために、健康づくりに取り組んだ事業所を表彰してはどうか、という意見があり、翌年第1回会議で、本事業の実施要領を協議し、「健康づくり優良事業所 福井県丹南健康福祉センター所長表彰」事業を創設した。

2 事業の概要

労働安全衛生関係法規を基本にして、事業所が取り組むべき健康づくり関連事業1つに1ポイントを付与。20ポイントを満点とし、半分以上のポイント獲得で表彰対象とする。

3 事業の啓発

- ・事業所を直接訪問し、事業の案内を行うとともに、事業所の健康づくりの取組状況を聴取した。

＜訪問事業所数＞ (平成24年度) 77事業所

(平成25年度) 50事業所

- ・訪問を断られた事業所には、電話で事業を案内した。

＜電話での案内事業所数＞ (平成24年度) 38事業所

(平成25年度) 16事業所

- ・福井県労働基準協会南越支部が主催する労働衛生週間説明会で、参加130事業所に対し本事業を案内した。
- ・管内市町商工会議所、商工会発行の会報に掲載した。
- ・福井県丹南健康福祉センターホームページ、鯖江商工会議所ホームページに掲載した。
- ・新聞、市町広報誌に掲載した。

4 応募数 (平成24年度)

16事業所

(内訳)	従業員	5～50人未満	5事業所
	〃	50～300人未満	9事業所
	〃	300人以上	2事業所

5 表彰事業所の決定 (平成24年度)

第2回丹南地区地域・職域連携推進会議で表彰事業所を決定し、新聞、ケーブルテレビ、ホームページで公表した。

健康づくり優良事業所 5事業所

健康づくり努力事業所 11事業所

6 表彰式・記念講演会の開催 (平成24年度)

日時 : 平成25年3月12日

場所 : 越前市福祉健康センター

参加人数 : 53名

記念講演会 テーマ「うつ病からの職場復帰 ～事業所が心がけること～」

講師 公益財団法人 松原病院 松原六郎代表理事

活動成果報告書

7 事業の波及効果

- ・事業所の依頼を受けて健康教育を実施した。
- ・商工会議所と共催で、健康に関する講演会を開催した。
- ・事業所からパネルや教材等の貸出依頼があった。
- ・働く世代をターゲットにしたがんキャンペーンで、事業所が従業員にパンフレットを配布した。
- ・事業所から、精神面で気になる従業員の対応の相談があった。

◇今後の計画

1 特にPRしたいこと

- ・本事業は、福井県丹南健康福祉センターの独自事業であり、事業予算がない中、工夫して事業を実施している。
- ・事業所が取り組む従業員の健康づくりのための環境を、ポイント制でわかりやすく評価している。
- ・事業所に直接足を運ぶことで、事業所の健康づくりの取組みが景気に左右されることや、事業所の担当者の熱意が、健康づくりの取組みに大きく影響している傾向がある等の、数値やアンケートでは把握できない生の情報を得ることができた。また、本事業を訪問のきっかけにすることで、事業所担当者を受け入れてもらいやすくなった。
- ・事業所の担当者と、フェイス・ツー・フェイスで話をした為、事業所（職域保健）から健康教育等の要望があり、県（地域保健）から、がんキャンペーンのパンフレットの配付等働く世代へのアクションが実施しやすくなり、実態のある連携のきっかけとなっている。

2 今後の計画

- ・平成25年度表彰式・記念講演会の予定

日時：平成26年3月10日（月）

場所：越前市福祉健康センター

記念講演会

テーマ「草の根レベルの取組から健康意識を拡げる

～大和証券グループ本社の健康増進の取組～

講師 株式会社大和証券グループ本社 人事部給与・厚生課長 副部長 安藤宣弘氏

- ・表彰を継続実施（平成25～26年度継続で実施を予定）する。
- ・本事業で得られた、職域の健康づくりに関する情報を丹南地区地域・職域連携推進協議会にフィードバックし、対策を検討する。

以上